

## \* 比率の解説

$$(1) \text{出生率} = \frac{\text{1年間の出生数}}{\text{10月1日の人口}} \times 1,000$$

$$(2) \text{死亡率} = \frac{\text{1年間の死亡数}}{\text{10月1日の人口}} \times 1,000$$

$$(3) \text{死因別死亡率} = \frac{\text{1年間の死因別死亡数}}{\text{10月1日の人口}} \times 100,000$$

$$(4) \text{乳児死亡率} = \frac{\text{1年間の乳児(生後1年未満)死亡数}}{\text{1年間の出生数}} \times 1,000$$

$$(5) \text{新生児死亡率} = \frac{\text{1年間の新生児(生後4週未満)死亡数}}{\text{1年間の出生数}} \times 1,000$$

$$(6) \text{死産率} = \frac{\text{1年間の死産数}}{\text{1年間の出産数(出生数+死産数)}} \times 1,000$$

※ 自然死産率、人工死産率は、「死産数」を、それぞれ「自然死産数」、「人工死産数」とする。

$$(7) \text{周産期死亡率} = \frac{\begin{matrix} \text{※1} \\ \text{妊娠満22週以後の死産数+早期新生児(生後1週未満)死亡数} \end{matrix}}{\text{1年間の出産数(出生数+妊娠満22週以後の死産数)}} \times 1,000$$

※2

※1 平成6年以前は、妊娠満28週以後の死産数+早期新生児死亡数

※2 平成6年以前は、1年間の出生数

$$(8) \text{婚姻率} = \frac{\text{1年間の婚姻数}}{\text{10月1日の人口}} \times 1,000$$

$$(9) \text{離婚率} = \frac{\text{1年間の離婚数}}{\text{10月1日の人口}} \times 1,000$$

$$(10) \text{合計特殊出生率} = \left[ \frac{\text{母の年齢階級別出生数}}{\text{年齢階級別女子人口}} \right] \text{15歳} \sim \text{49歳までの合計}$$

(凡例)

- 計数のない場合
- 0.0 数値が0.05未満の場合
- … 計数不明の場合